

焼却処分から堆肥の材料へ

清掃ゴミを温暖化対策のシンボルグッズに

TEAM
地域 エコ アクション ミーティング



最前線

～その後の脱温暖化物語～
⑫倉橋の海とくらしを守る会

倉橋の海とくらしを守る会は、公衆衛生推進協議会が中心となり漁協やスパーなどの事業者と行政で構成され、平成十九年六月に設立した。海に囲まれた倉橋ならではの特性を活かした活動で二酸化炭素の削減へ取り組んでいる。

まずは、倉橋の象徴である「桂浜」で、海を見つめなおすための清掃活動や温暖化防止についての知識を深める学習会を取り組んだ。毎月一回定期的に清掃を行うことで、ポイ捨てによる空き缶などのごみは大きく削減した。



堆肥とその活用方法を検討する会員たち

しかし、浜辺にあがった松葉や海藻、雑草などは、毎回ごみ袋で何十袋にもなっており、トラックで運び、焼却処分を行っていた。その運搬や焼却によって生じる二酸化炭素をなんとかして削減できないかと会員が話し合い、昨年度から堆肥の材料として活用を模索し始めた。

堆肥製造場所は、かつてごみステーションとして使われていたスペースを利用して、昨年十一月の清掃で回収、分別した松葉や海藻を半年間かけて、腐らせていった。途中、会員が集まり、ピニールなどのプラスチックごみの残りをすべて手作業で取り除いた。半年を経て、堆肥の中から、カプトムシの幼虫やダンゴムシ、さらにはへびまで出てくるほど、黒々とした豊かな堆肥ができあがった。

五月にプランターの花の堆肥として利用してみたら、花は綺麗に咲き誇った。塩分が多いのではないかなどと心配も多かったが、順調な滑り出しのようだ。今後、海藻を入れすぎると砂が混じるなどの課題の解決を図っていく。

会長の大高一司さんは「堆肥を進めるとともに有効活用策を検討し、広く住民に温暖化対策を広めるシンボルグッズとして活用したい。」と今後への意気込みを語られた。清掃活動をきっかけに脱温暖化の取り組みにつなげていく今後の活動に期待したい。(脱温暖化センターひろしま)

海田町・尾道市門田に地域協議会

設立した「海田町地球温暖化対策地域協議会」(通称:かいた線のネットワーク)は、地球温暖化防止活動推進員や公衆衛生推進協議会、小中学校校長会、町などで構成されている。

広がる脱温暖化のまちづくり

県内で20団体が特色ある実践活動

五月一日には、尾道市門田町エリアで活動を進めようとする「脱温暖化・門田地域協議会」を設立した。子供会、老人会、女性会、炭焼きの里、環境指導員協議会などの団体



地域協議会「かいた線のネットワーク」の設立式

協会の必要性や役割などを協議し、門田地域の誰でも参加でき、活動できる取り組みを推進していくこととなった。まずは、アクリルたわしを切り口にした「活動実践普及活動や環境家計簿記帳運動

などを実施する予定だ。現在、県内で二十の地域

環境と健康の学習ルーム新グッズ紹介～環境編～

当会の「環境と健康の学習ルーム」では、「環境」「脱温暖化」「健康」のテーマに関するグッズを貸し出しています。今回は「環境」に関して、今年度より貸し出しを開始したエネルギー学習教材を紹介します。

■カルピカ
化石燃料がもとである電気やガスなどを一切使わず、太陽の熱エネルギーだけで料理ができるソーラーッキング体験キットです。大きさは、パラボラ部分の直径が八十センチ、セッティング時の高さは約六十センチになります。また、アルミ仕様であるため重

体験型グッズの貸し出しを開始 エネルギーを実感し大切さを学ぶ



カルピカを使いお湯を沸かす実験

自分の作った電気や、どれくらい家電を稼働させることができるかを体験することができ、エネルギーの大切さを学ぶことができます。どちらか、エネルギーについて楽しみながら学ぶことができますので、イベントや学習会等で活用してもらいたいと思います。

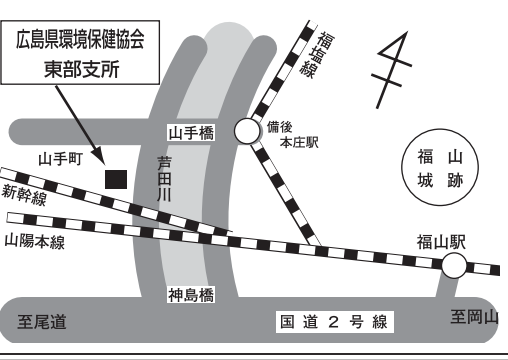


モータを回し発電をする仕組みを体験

付属のフライパンや鍋、やかんを使って色々な調理を体験することができます。エネルギーの大切さを学ぶことができます。どちらか、エネルギーについて楽しみながら学ぶことができますので、イベントや学習会等で活用してもらいたいと思います。

東部地区の検査受付は、支所でも行います!

食品検査・衛生検査・飲料水検査・環境検査など
【受付時間】月曜日から木曜日 8:30～17:30



財団法人 広島県環境保健協会
東 部 支 所
〒720-0092 福山市山手町5-32-26
TEL 084-952-0007
FAX 084-952-0009

